

A0802-03	局所加熱に注意		
本文	熱的に不安定な物質が入った容器は急激な加熱により反応暴走し、爆発などの危険が生じるので注意すること。		
リスクの種類	反応暴走→爆発	関連目次・章節	
理由(何故)	重合性物質や過酸化物などの熱的に不安定な物質は、重合禁止剤が入っている場合でも、時間とともにそれが減少するので、急激な加熱や局所的な加熱は暴走反応を起こし、爆発することがある。		
方策	融解や加温のために直接スチームをかけたり、貯蔵庫の暖房用・加温用の高温部に直接触れる場所で保管することなども避ける。		
事故例	樹脂原料として使用するアクリル酸が入っているドラム缶を温蔵庫に入れて加温、融解していたが、そのドラム缶が異常に膨らみ、搬出中にアクリル酸が噴出し、その後爆発した。ドラム缶が温蔵庫内で加熱用スチーム配管に接触していたため、缶内のアクリル酸が局部加熱され重合反応を引き起こし暴走したもの。(死者 0、負傷者 3) (1998.3 化学工場 兵庫県)		
法的参考事項			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・JST 失敗知識 DB より ・幅道雄氏「有機過酸化物の火災事故の調査と対策」(論文) (1986～2000年)15年間の消防庁の火災事故例について、各要因を分類し、事故対策を提案している。		